スタートアップ・エコシステム形成支援　採択プラットフォーム紹介

令和4年度開始～令和8年度終了予定

プラットフォーム名：　（令和6年7月時点）

HSFC〈エイチフォース〉

北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク

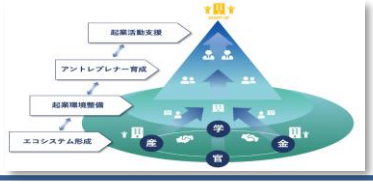
参画機関

主幹機関：北海道大学　　共同機関：小樽商科大学、室蘭工業大学、北見工業大学、公立はこだて未来大学、札幌医科大学、北海道情報大学、北海道科学大学、北海学園大学、苫小牧工業高等専門学校、旭川工業高等専門学校、函館工業高等専門学校、北海道科学技術総合振興センター

幹事自治体 ： 札幌市、江別市、帯広市、函館市、北海道

目指すスタートアップ・エコシステム

労働人口の減少が加速するなど「課題先進地域」である北海道を、スタートアップ創出とそのためのエコシステム形成によって「課題解決先進地域」へと変革させる。大学・高専が輩出する優秀な人材の流出を防ぎ、地域に新しい産業構造の構築を目指す。令和8年度までのスタートアップ創出目標数は135社である。



（1）起業活動支援プログラムの運営

・創出するベンチャー像を3つに明確化し、支援・育成を加速する。
　①世界市場を目指すDEEP TECH型ベンチャー
　②国内市場を中心とした研究成果実装・地域課題解決型ベンチャー
　③ソーシャルビジネス・学生ベンチャー
・GAPファンドについて令和5年度から令和8年度までは、令和4年度の実績や本プログラム以外での資金調達状況を踏まえ、適当数の単価及び採択予定数を設定する。
・事業化支援のための新プログラムを導入し、事業化の加速を目指す。
　▸公募前研修プログラムの実施
　▸採択後の標準化プログラム・個別メンタリング・VCマッチング等

（2）アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営等

・主幹機関である北海道大学を中心としたアントレプレナーシップ醸成とその発揮を目指した新プログラムを構想し、実装を進める。
　▸学校祭を活用した起業プログラム（北大・小樽商科大が連携し、参画機関へ展開）
　▸小中高校生向けアントレプレナー教育の実施
　▸事業化ノウハウ指導プログラム（北大）等
・アントレプレナーシップ人材育成プログラムを、6,500人/年以上が受講することができる体制を整備する。
・共同機関・協力機関との連携プログラムも新規・継続強化を行う。
　▸新入生オリエンテーションアントレプレナー教育（北大・小樽商科大）
　▸オープンバッジ導入によるスキル・マインドの証明を行う等。

（3）起業環境の整備

・広域に点在するプラットフォームのハブHX〈エイチクロス〉を中心にネットワーク強化を行うための拠点整備を進める。
　▸音更町サテライト（小樽商科大・帯広市）
　▸KOSENコモンズ函館（函館高専・函館市）
　▸交流サロンテクノスペース（情報大・江別市）
　▸C-Base（苫小牧高専・苫小牧市）等
・拠点都市内のインキュベーション施設との連携を強化する。

（4）拠点都市のエコシステムの形成・発展

HSFC ×NoMaps

・拠点都市が進める他のビジネスカンファレンス等とプラットフォームの取組を接続し、ネットワークの強化とスタートアップ創出の契機を拡大させる。
▸日本版SXSWを目指す「NoMaps」（札幌市）との連携
　・経営者・VC等とのミートアップの実施
　・都市を舞台とした実証実験・展示
　・ピッチコンテストの開催とその後のメンタリング等

活動成果

- アントレプレナーシップ人材育成プログラム数：23件
- プログラム受講者数：3,932名
- エコシステム形成イベント開催数：9回
- エコシステム形成イベント参加者数：651名